

検討する「地域内交通」とは??

市内には、鉄道・路線バス・タクシー・コミュニティ交通・予約型乗合タクシー等、様々な交通手段があります。これらは単独ですべての地域・移動ニーズに対応しているのではなく、それぞれの交通モードの特性を活かし、移動する距離や時間帯、目的、人数等に応じた役割分担をしています。

岡崎市の交通ネットワークを木になぞらえると、「**幹**」の交通は鉄道、「**枝**」の交通は路線バス、「**葉**」の交通はタクシー・コミュニティ交通・予約型乗合タクシー等となります。

「**葉**」の交通は、地域住民の最初の移動となる交通手段として、地域住民の豊かな暮らしや地域の社会経済活動に不可欠であり、地域のコミュニティによって支えられます。

本手引を活用して、皆さんが検討する「**地域内交通**」は、「**葉**」の交通として既存の公共交通を補完するものです。

このような交通手段ごとの役割分担を意識して他の交通手段と競合しないことを前提に、地域のニーズに合い、導入後も継続的に利用される地域内交通となることを意識して検討することが必要です。



「勉強会」と「地域協議会」って??

この取組を行うにあたって「**勉強会**」の開催をお願いしています。

「**地域内交通の検討を始めたい!**」と思ったら地域の代表者（学区総代会長等）を通じて岡崎市にご連絡ください。

勉強会	地域協議会
まずはこちらから ➢ 市の考え方や地域の課題について意識を共有し、地域の特性を把握します ➢ 地域の皆さんからのご相談に応じて、岡崎市や専門家・交通事業者も参加します	運行のための検討・協議の場 ➢ 地域内交通の実証運行や本格運行に向けた、具体的な内容について検討・協議をします ➢ 地域の皆さんが継続的に開催し、岡崎市や交通事業者も参加します

問合せ先 岡崎市総合政策部地域創生課 電話 0564-23-6486

みんなでつくる 地域の交通 【概要版】

令和6年6月版

はじめに

地域での暮らしを守り、地域の移動手段として公共交通を確保・維持するためには、地域・行政・事業者が役割を分担・連携して取り組む必要があります。

そこで、本市では、令和4年3月に「岡崎市地域公共交通計画」を策定し、地域主体による交通手段の導入や拡充の支援を進めています。そして、地域の移動ニーズに対応した交通体系を構築し、多様な交通手段を地域が選択する取組を後押しするため、この手引を作成しました。



買物や通院等、日々の生活を送る上で、移動に困っていることはありませんか？

この手引は、地域の皆さんが地域の交通手段について、具体的な検討・導入・運営を行う際に活用していただくことを目的としています。

地域に合った交通手段の実現には手間も時間もかかりますが、**地域の積極的な取組を全力で応援します!** ぜひ、地域の皆さんで話し合ってみてください。

なぜ地域が主体となって検討するの??

地域の皆さんが利用しやすい交通手段の拡充を図るためには、地域のことを知ることが大切です。地域の課題を共有し、移動に関する困りごとをどうやって解消するか、**地域のことをよく知る皆さんが主体となって検討すること**で、**地域の課題解決のため、地域の移動ニーズに合った持続可能な交通手段となることが期待**されます。

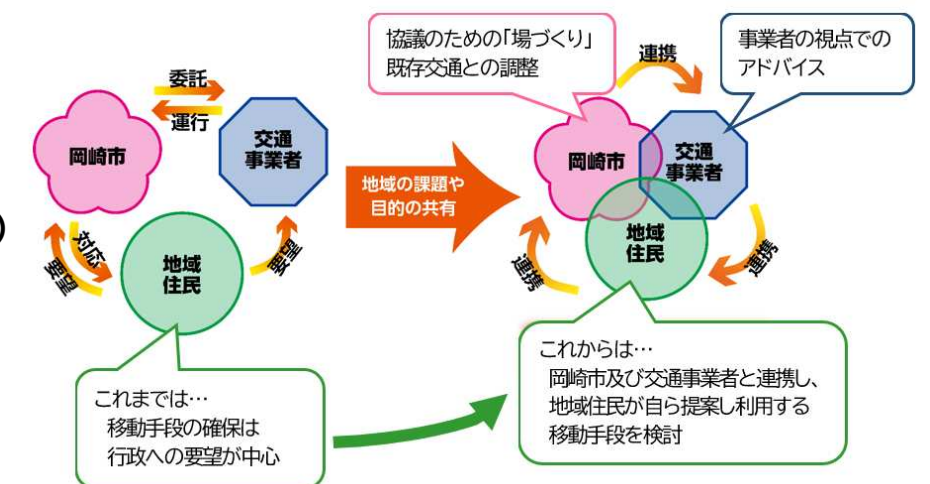


検討を進める中で出てくる難しいこと・専門的なことについては、岡崎市や交通事業者が伴走者としてサポートします。

目指す方向性のイメージ

少子高齢化や公共交通利用者数の減少、不採算路線への補填費用の拡大、運転者不足等もあり、交通手段を確保・維持していくことが難しくなっています。今後、持続可能な交通手段の確保・維持のため、既存の公共交通の活用や新しい交通手段の導入を図る際には、「**地域住民**」・

「**岡崎市**」・「**交通事業者**」が役割を理解・連携したうえで、**地域住民が自ら提案し（又は運営し）移動手段を確保することが重要**となります。



コスト意識を持ちましょう

地域内交通は**市費や利用者の運賃収入、事業者の協賛金等によって支えられています**。持続可能な交通手段とするため、市費の負担額や収支率について意識することが必要です。

地域主体による交通手段の導入・拡充に向けた検討の流れと役割分担

	STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
	地域の交通を知る・学ぶ 期間の目安：約1年	地域の課題を整理し、 地域に合った交通手段を考える 期間の目安：約1～2年	地域内交通を試す 期間の目安（実証運行）：1～3年	地域内交通を守る・育てる
	移動にお困りごとを感じたら、 一緒に地域の交通を考える仲間を集め 、総代会等を通じ、岡崎市に ご相談ください。勉強会等を開催 し、地域の交通を学びましょう。	地域の特性や移動ニーズ等 か ら、地域課題を整理しましょう。 地域課題の解決のための交通手段 について検討しましょう。	運行計画を作成し、 実証運行を 実施 します。本格運行に向けた設 定する基準をもとに、評価・改善 を重ね、 持続可能な 地域内交通に ついて検討しましょう。	実証運行の結果を踏まえ、運行 計画を作成し、 本格運行を実施 します。本格運行後も持続的に事業 を実施するため、 PDCA サイクル を継続的に実施 しましょう。
地域住民	➢ 地域の移動に関する困りごとの共有 ➢ 総代会等を通じて、岡崎市に相談 ➢ 勉強会等の開催 ➢ アンケート等の実施 ➢ 先進事例の視察	➢ 地域に合った交通手段の検討 ➢ 今後の取組方針について決定 ➢ 地域協議会の設立	➢ 地域協議会の運営 ➢ 運行計画の作成 ➢ 本格運行に向けた基準の設定 ➢ 周知・利用促進策の検討・実施 ➢ 実証運行の評価、運行計画の見直し	➢ 地域協議会の運営 ➢ 運行計画の作成 ➢ 周知・利用促進策の検討・実施 ➢ 運行の評価、運行計画の見直し
岡崎市	➢ 岡崎市の方針等の説明 ➢ 取組に関する支援 （勉強会の開催支援・地域特性データ・ アンケート素案等の提供・結果分析・ 専門家派遣等）	➢ 交通手段の検討支援 ➢ 地域協議会の設立支援	➢ 運行計画の作成支援 ➢ 関係機関との連絡調整 ➢ 岡崎市地域公共交通会議を開催・協議 ➢ 実証運行の実施 ➢ 周知・利用促進策の取組を支援 ➢ 実証運行の評価支援・運行計画の見直し提案 ➢ 実証運行の継続・廃止、本格運行への移行判断	➢ 運行計画の作成支援 ➢ 関係機関との連絡調整 ➢ 岡崎市地域公共交通会議を開催・協議 ➢ 運行費用の支援 ➢ 周知・利用促進策の取組を支援 ➢ 運行の評価支援、運行計画の見直し提案
交通事業者	➢ 取組に関する支援 （勉強会への参加、公共交通利用状況の 情報提供、アドバイス等）	➢ 地域協議会への参加 ➢ 検討、協議事項に関する支援	➢ 事業許可申請 ➢ 安全な運行の実施 ➢ 運行結果のデータ報告 ➢ 運行内容の見直し提案	➢ 事業許可申請 ➢ 安全な運行の実施 ➢ 運行結果のデータ報告 ➢ 運行内容の見直し提案

ニーズの見極め

「あったら便利」「5年後・10 年後に欲しい」といった未確定のニーズではなく、「日常生活の移動に困っている」「運行したら利用する」といった、現在の必要性が高いニーズを意識する必要があります。日常生活の移動に困っている人の声を聞いたら地域で共有し、同じように考えている方がいるか話し合っ、一緒に交通を考える仲間を集めましょう。

勉強会で学ぶこと

- ✓ そもそも「交通」って？
- ✓ 交通に係るコストについて
- ✓ 岡崎市の交通施策、方針について
- ✓ 全国的な公共交通に関する動き、事例紹介
- ✓ 地域特性、移動ニーズ、地域課題等の把握
…など

◎「地域内交通」は既存の公共交通を補完するものです。交通手段ごとの役割分担を意識して、他の交通手段と競合しないことを前提とした検討が必要です。

本格運行に向けた基準の設定(運行の見直し等を判断する基準の目安)

実証運行の際、持続可能な移動手段として本格運行へ移行するか判断するための基準を、次の目安をもとに、地域特性に応じて設定します。この基準は、本格運行後も、運行を継続するかどうか検討する目安とします。

	定路線運行:乗車数 区 域 運 行:乗合率	稼働率	収支率	※左記のほか、「市民一人当たりの負担額」や地域の公共交通の状況なども考慮のうえ運行計画を作成し、岡崎市地域公共交通会議で協議・承認を行います。	
定路線運行	1往復 2人以上	—	5%		
区域運行 (車両借上げ)	1乗車 1.1 人以上	50%			